

E 知的障害のある児童における場面緘黙・吃音の実態と支援に関する調査

この度は調査へのご協力ありがとうございます。

- この調査は、「知的障害のある児童」「場面緘黙：吃音もある実態」について、先生のお考えについてお聞きするものです。
- 調査対象者は、**特別支援学級（知的障害）の担任をされている先生**です。
- 正しい答え・間違った答えなどはございませんので、ご回答される先生の思った通りにお答えください。
- 本調査は統計処理をするので個人が特定・公表されることは一切ありません。また、結果につきましても、学術的な目的以外に使用いたしません。
- それぞれの質問をよく読み、該当する番号に○、または空欄に必要事項を記入してお答え下さい。
ご回答もれのないようお願いいたします。

東京学芸大学・橋本創一

【1】ご回答される先生と学校についてお答えください。

- (1) あなたの教員勤務年数をご記入ください。（ ____ 年）
- (2) あなたの特別支援学級の担当年数を教えてください。（ ____ 年）
- (3) 貴校の特別支援学級(知的障害)に在籍する児童の総人数をご記入ください。（ ____ 名）

【2】場面緘黙のある児童についてお答えください。

- (1) 貴校の特別支援学級の児童のなかで、「場面緘黙」のある児童数をご記入ください。（ ____ 名）

★場面緘黙のある児童 1 名についてご回答ください。(該当する児童がいない場合は未記入で構いません)

(2)場面緘黙のある児童のプロフィール

- ① 対象児童の学年 （ ____ ）年生
- ② 対象児童の性別 ☐ 男 ☐ 女 ☐ その他・回答しない
- ③ 対象児童は通級による指導を何年間受けていますか （ ____ ）年間あるいは(____)か月
- ④ 対象児における医学的診断がある場合、該当するものを選んでください。(複数回答可)
☐ 知的発達症(知的障害) ☐ 場面緘黙症 ☐ 不安症 ☐ 限局性学習症 ☐ 自閉スペクトラム症
☐ 注意欠如多動症 ☐ ダウン症 ☐ その他(_____)
- ⑤ 対象児童(場面緘黙)の「話す場面における不安や、周囲からの評価懸念」について、最も当てはまるものを 1 つ
を選んでください。
☐ 非常に強く見られる ☐ やや見られる ☐ どちらともいえない
☐ あまり見られない ☐ 全く見られない(意識が低いなど)
- ⑥ 対象児童(場面緘黙)への支援での難しさや負担感について教えてください。
(複数回答可)
☐ 場面緘黙やその受け止め方(児童自身の思い)に合わせた最適な指導・学習内容を考えることが難しい

- ☐ 児童本人が場面緘黙の状態について、どの程度、どのように話題(直面化)にしてよいかという葛藤がある
- ☐ 実際の指導法・アプローチを導入する際に、学術的な根拠(エビデンス)や評価基準の不足・不安がある
- ☐ 遊び的な活動(遊戯療法的アプローチ)を導入する際に、自立活動としての目的・内容の位置づけが難しい
- ☐ その他()

⑦ 対象児童(場面緘黙)にとっての「安心できる居場所」は、主にどこに形成されていたと感じられますか。

当てはまると思われるものを【2 つまで】お選びください。

- ☐ 家庭 (保護者の理解があり、最も素の状態でいられる場所)
- ☐ 個別指導の空間 (担当者と 1 対 1 で安心して話せる時間)
- ☐ グループ指導・ピア交流の場 (同じ悩みを持つ仲間と過ごす時間)
- ☐ 特別支援学級の全体 (担任の理解や適切な配慮があり、クラス全体に居心地の良さがある)
- ☐ グループ指導・役割の場 (代替案などを通じて、自分の役割や自己発揮ができていた瞬間)
- ☐ 習い事や余暇活動 (学校外のコミュニティ)
- ☐ どこにも居場所を見出せていない、あるいは判断が難しい
- ☐ その他()
- ☐ わからない

⑦-2 上記の質問において、そのように考えた具体的なエピソードや理由があればご記入ください。

()

⑧ 対象児童(場面緘黙)が、学級での発表や音読の場面において、工夫や代替、免除などが行われていますか。その実施として最も当てはまるものを 1 つ選んでください。

- ☐ 発表や音読自体を「免除(パス)」することが多い
- ☐ 音読をペアで読んだり役割を小分けにするなど、負担を減らしている
- ☐ ICT機器を活用(録音の再生など)している
- ☐ 特に代替や免除は行っていない
- ☐ 把握していない
- ☐ その他()

⑨ 対象児童(場面緘黙)の保護者からの相談内容として、当てはまるものをすべて選択してください。

(複数回答可)

- ☐ 場面緘黙の症状に関する相談(接し方や予後など)
- ☐ 授業の遅れや、学習への苦手意識に関する相談
- ☐ 不登校(行き渋り)や友人関係に関する相談
- ☐ 場面緘黙に伴う児童の心理面(人前の回避、自信喪失など)に関する相談
- ☐ 場面緘黙に起因するトラブル(からかい等)に関する相談
- ☐ 家庭での日常生活や生活習慣に関する相談
- ☐ 家庭での保護者が感じる「育てにくさ」に関する相談
- ☐ きょうだい関係や、家庭内でのコミュニケーションに関する相談
- ☐ 毎日の宿題(提出物)にとっても時間がかかる等の相談
- ☐ 進学や将来の就職、大人になってからの場面緘黙の影響など、将来への不安に関する相談
- ☐ 積極的な相談はない
- ☐ その他 ()

【3】吃音のある児童についてお答えください。

(1) 貴校の特別支援学級の児童のなかで、「吃音」のみられる児童数をご記入ください。(____名)

★特別支援学級のなかで「吃音」が顕著にみられ児童 1 名についてご回答ください。

(該当する児童がいない場合は未記入で構いません)

(3) 吃音のみられる児童のプロフィール

① 対象児童の学年 (____)年生

② 対象児童の性別 ☐ 男 ☐ 女 ☐ その他・回答しない

③ 対象児童は通級による指導を何年間受けていますか (____)年間あるいは(____)か月

④ 対象児(吃音)における医学的診断がある場合、該当するものを選んでください。(複数回答可)

☐ 知的発達症(知的障害) ☐ 場面緘黙症 ☐ 不安症 ☐ 限局性学習症 ☐ 自閉スペクトラム症
☐ 注意欠如多動症 ☐ ダウン症 ☐ 吃音症 ☐ 不安症 ☐ その他(____)

⑤ 対象児の吃音症状で最も頻繁に示すものを選んでください。

☐ 連発[語頭や語中の音を繰り返す「こ、こ、こ、こんにちは」]
☐ 伸発(引き伸ばし)[言葉の一部を引き伸ばす「こ——んにちは」]
☐ 難発(ブロック)[硬直し声や息が出なくなる「…こんにちは」]
☐ 不明瞭[症状ははっきりしない]
☐ わからない

⑥ 対象児童(吃音)の「話す場面における不安や、周囲からの評価懸念」について、最も当てはまるものを 1 つ
を選んでください。

☐ 非常に強く見られる ☐ やや見られる ☐ どちらともいえない
☐ あまり見られない

⑦ 吃音があることの支援について、ご回答いただいている先生の困難感や負担感について最も当てはまる
ものを1つを選んでください。

☐ まったく感じない(困難・負担感がまったくない) ☐ あまり感じない ☐ どちらともいえない
☐ やや感じる ☐ 非常に強く感じる(困難・負担感が強い)

⑧ 対象児童(吃音)への支援での難しさや負担感について教えてください。(複数回答可)

☐ 児童本人の吃音(発語)に関する意識や自己理解がどこまであるのかがわからない
☐ 児童本人が吃音について悩んでいて、その対応や支援を提示することが難しい
☐ 吃音について児童へ指摘すべきなのか、指摘しない方がよいのか迷っている
☐ 児童自身の吃音特性(どんな時に出やすいか等)に関する理解を促す方法が難しい
☐ 児童にある障害特性(自閉症や情緒障害など)へのアプローチが優先されて、吃音に関する支援を
おこなう余裕がない
☐ 吃音に伴う心理的な随伴症状(心理的な回避、諦め、黙り込みなど)への対応があつて難しい
☐ 吃音症状が出にくくなるように、ゆったりとした速度で、あるいは引き伸ばして、柔らかい起声によって
発話する方法(流暢性形成法)を導入しているが効果がみられない
☐ 吃音症状の改善を目標とせず、比較的目立ちにくく楽な話し方・言葉に置き換える方法(吃音緩和法)
を導入しているが効果がみられない
☐ 「上手に話せたね」「今ちょっとつかえたね」などのフィードバックを即座に返す行動療法による方法
(リッカム・プログラム)を導入しているが効果がみられない
☐ 児童の能力(言語、認識、社会性、発音運動など)に応じた会話・コミュニケーション状況をなるべく提供する
という環境調整をおこなっているが効果がみられない

☐自身の吃音について、周囲の友だちに「どのように説明するか／どんな配慮をしてほしいか」を自分で発信するための具体的な支援方法が難しい

☐その他()

⑨ 対象児童(吃音)が、発表や音読の場面において、工夫や代替、免除などが行われていますか。その実施として最も当てはまるものを1つ選んでください。

☐発表や音読自体を「免除(パス)」することが多い

☐音読をペアで読んだり役割を小分けにするなど、負担を減らしている

☐ICT機器を活用(録音の再生など)している

☐特に代替や免除は行っていない

☐把握していない

☐その他()

⑩ 吃音に関して、対象児童の保護者からの相談について、最も当てはまるものを1つ選んでください。

☐まったくない(吃音に関する相談はない) ☐あまりない ☐どちらともいえない

☐少しある ☐とても多くある(吃音に関する相談が多い)

⑪ 対象児童の吃音の支援について、先生のお考えや困っていることがあればお書きください。

()

※質問は以上です。ご協力ありがとうございました。